



神納中だより

神納中学校第98号

平成23年5月25日発行

平成24年度完全実施の新学習指導要領の改訂のポイント

平成24年度から中学校新学習指導要領が改訂されます。これまでもテレビや新聞等のマスコミでも取り上げられてきましたが、今回の神納中だよりでは、完全実施を1年後に控え、あらためて改訂のポイントを保護者並びに地域の皆様にお伝えいたします。

学習指導要領は、作成主体が文部科学大臣になっています。国会で制定された「学校教育法」の規定をうけて「学校教育法施行規則」で定められており、法体系に位置付けられていることから、「法規」としての性質を有するものです。したがってすべての公立学校はこの学習指導要領の趣旨にそって教育課程を編成しなければならないこととなります。

以下に「文部科学省：小・中学校学習指導要領の改訂のポイント」から教育内容の主な改善事項をお伝えします。

1 今回の改訂の基本的考え方

- 教育基本法改正等で明確になった教育の理念を踏まえ、「生きる力」を育成
- 知識・技能の習得と思考力の・判断力・表現力等の育成のバランスを重視、授業時数を増加
- 道徳教育や体育などの充実により、豊かな心や健やかな体を育成

2 授業時数の増加

- 国語・社会・数学・理科・外国語・保健体育の授業時数を実質10%程度増加
- 週当たりの授業時間数を各学年で週1単位時間増加

3 教育内容の主な改善事項

- (1) 言語活動の充実
 - ・国語をはじめ各教科等で記録、説明、批評、論述、討論などの学習を充実
- (2) 理数教育の充実
 - ・国際的な通用性、内容の系統性の観点から指導内容を充実
〔解の公式（数学）、イオン、遺伝の規則性、進化（理科）〕
 - ・反復（スパイラル）による指導、観察・実験、課題学習を充実（数学、理科）
- (3) 伝統や文化に関する教育の充実
 - ・ことわざ、古文・漢文の音読など古典に関する学習を充実（国語）
 - ・歴史教育（狩猟・採集の生活や国の形成、近現代史の重視等）、宗教、文化遺産（国宝、世界遺産等）に関する学習を充実（社会）
 - ・和楽器、唱歌、美術文化、和装の取扱いを重視（音楽、美術、技術・家庭）
 - ・武道を必修化（保体／中1・2年）
- (4) 道徳教育の充実
 - ・発達の段階に応じて指導内容を重点化
〔人間としてしてはならないことをしない、きまりを守る（小学校）、社会の形成への参画（中学校）など〕
 - ・体験活動を推進
 - ・先人の伝記、自然など児童生徒が感動する魅力的な教材を充実

- ・ 道徳教育推進教師を中心とした指導体制を充実
- (5) 体験活動の充実
 - ・ 発達の段階の応じ、集団宿泊活動、自然体験活動、職場体験活動などを推進（特別活動等）
- (6) 外国語教育の充実
 - ・ 小学校に外国語活動を導入、聞くこと、話すことを中心に指導（小学校5・6年）
 - ・ 中学校では聞く・話す・読む・書く技能を総合的に充実
〔語数を増加（900語程度まで→1200程度）、教材の題材を充実〕
- (7) 重要事項
 - ・ 環境、家族と家庭、消費者、食育、安全に関する学習を充実
 - ・ 情報の活用、情報モラルなどの情報教育を充実
 - ・ 部活動の意義や留意点を規定
 - ・ 障害に応じた指導を工夫（特別支援教育）
 - ・ 「はじめ規定」（詳細な事項は扱わないなどの規定）を原則削除

このような新学習指導要領の改訂を受けて、私たちは教育課程、即ち、学校が行う1年間の教育活動に関する計画を大幅に改善していくこととなります。概要についてはすでに「平成23年度 神納中学校の教育課程の改善策」でお伝えしてありますが、各教科の変更点についてはまだ十分にお知らせできていない部分があります。保護者の方からのご質問もありましたので（例：なぜ学校の体育で柔道を教えなければならないのですか、等）、適宜、学校だよりやホームページ上でお伝えしていきますので、よろしくお願いたします。

平成23年度 Web配信問題の実施について

すでに学校だより等でもお伝えしましたが、新潟県教育委員会では昨年9月から「学力向上推進システム活用事業」を実施しています。この事業の目的は、学力向上の取組を全県規模で実施し、確実に県内全体の児童生徒の学力を向上させることにあります。

当校では、県の掲げるこの目的を一人一人の生徒に実現させるために、計画的・継続的に Web配信問題を実施し、その都度結果を全職員で共有し、授業改善に努めてまいりました。その結果、表Iでお示したように、県全体の平均正答率との比較という点で、当校の生徒は確かな成果をあげることができました。

【平成22年度 当校生徒の正答率と県の平均正答率との比較】

表 I	1年生（現2年生）			2年生（現3年生）		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語
第1回	7.8	5.8	7.8	6.3	7.1	5.6
県平均	7.6	5.7	7.5	5.6	6.9	4.8
第2回	6.5	6.9	5.4	5.4	5.6	4.0
県平均	6.4	6.9	6.4	5.9	5.1	5.2
第3回	5.4	5.3	3.7	6.0	5.7	6.1
県平均	5.7	5.9	4.8	5.8	5.5	5.5
第4回	5.9	4.7	6.8	7.4	7.5	6.7
県平均	5.8	4.1	5.8	7.0	7.5	5.8

※ 現1年生は、今年度5月から第1回目の実施になります。

平成23年度はさらに一歩前進したいと考えています。これまでは学年や学級の平均正答率と

県全体の平均正答率を比較して、当校の生徒たちのおおよその学力状況を把握し、教師が授業改善を図っていくというものでした。今年度は一人一人の生徒の正答率と県の平均正答率を比較できる個表（個別カード）を作成し、生徒自身が自分自身の学習状況を把握できるシステムに改善したいと考えます。

これによって生徒は県全体における自分の学力がどれほどのものなのか、ある程度は分かるようになりますし、また、教師にとっては生徒の学習状況に合ったよりきめの細かい指導を進めていくことができるようになります。

保護者の皆様の変わらぬご理解とご協力をお願い申し上げます。

露崎クメ様、ありがとうございました。

桃川にお住まいの露崎クメ様は、毎年、新年度が始まると心を込めてお作りになった雑巾百枚を学校に寄贈していただきます。これは中学校だけではなく、地域の小学校にも寄贈していただいているということで、その数は約400枚という膨大な数になります。露崎様がお作りになった雑巾はとてもきれいで、床や窓ふきに使うにはもったいない程です。実際に手で布に触れてみますと、地域の子どもたちが健やかに成長するようという露崎様の願いや祈りが直に伝わってくるかのようです。

職員一同、心から感謝申し上げます。すでに給食の台ふきとして使わせていただいております。本当にありがとうございました。このことは全校朝会などで生徒にもお話し、私たちは地域の皆様や保護者の方々に支えられてはじめて幸せな学校生活をおくることができることを、今一度、しっかりと心に銘記したいと考えています。

ここで露崎様の神納中学校の生徒へのメッセージを紹介いたします。

神納中学校の皆さんお元気ですか。新年度分の雑巾100枚をお届けします。いろいろの所に使ってください。

私は昭和11年生まれで、まだまだ若いです。毎年雑巾を縫っています。そして学校へ届けるのが楽しみです。

皆さんも勉強にスポーツに頑張ってください。

平成23年4月

露崎 クメ

東日本大震災への義援金募金のお礼とご報告 4月25日

当校では東日本大震災の義援金の募金活動として、生徒会総務が中心となり、第1回目を3月22日から25日にかけて、第2回目を4月12日から15日にかけて実施しました。全校生徒を対象に行われた2回の募金で40643円の義援金が集まりました。

また、毎年文化祭の日、PTA主催で行われているバザーの時の収益金の一部も併せて義援金として寄付することになりました。このことは先のPTA総会で保護者の方々の承認を得ております。募金活動にご協力いただいた生徒の皆さん、並びに保護者の方々に厚くお礼申し上げます。当校からの義援金の総計は90643円になりました。

4月25日（月）、当校を代表する生徒会総務の生徒たちが、集まった義援金を神林支所社会福祉協議会へ確にお届けしました。



特設陸上部の練習活動開始 4月27日

今日から特設部の陸上練習が始まりました。顧問の村上先生から詳細な練習日程が提示されています。特設陸上部に所属する生徒たちは、本来、野球部員であったり、吹奏楽部員であったりして、自分が所属している部活動の練習の合間をぬって陸上練習に励むことになります。



二つの部活動をかけ持ちすることで生徒への負担過重が心配ですが、毎年実施しているということもあり、当の生徒たちは私たちの心配をよそに大変意欲的に活動に取り組んでいます。これから暑い夏に向けて熱中症対策

など、生徒たちの健康管理には十分注意しながら、来るべき大会に向け、自分自身に対する挑戦を継続していただきたいと思います。

3年生修学旅行（関西方面	5 / 10 ~ 5 / 12）
2年生班別自主研修（新潟市	5 / 11）
1年生村上市内巡見（村上市	5 / 11）

5月10日から12日にかけての2泊3日間、3年生は関西方面へ修学旅行に行ってきました。3日間の天候はあまり良いとは言えませんでした。それでも大きなトラブルもなく計画通り修学旅行を実施できたこと、このこと自体、私たちはとても恵まれていたと思います。

東日本大震災の影響で修学旅行を取り止めなければならなくなった学校や行き先を変更し、日程を短縮しなければならなくなった学校など、修学旅行一つとってみてもこの度の大地震の暗い陰がまだ国内全体を覆っているのが現状です。

3年生46名は今回の旅行で仲間同士の絆を強めたり、未経験のことに挑戦したり、多くのことを学ぶきっかけを得ることができました。今後の学校生活に役立てていただきたいです。

また、1年生は班別自主研修で旧村上市内を、2年生は新潟市内を活動の舞台に校外研修を行いました。曇りがちなお天気とはいえ、雨に降られることもなく大きな成果と共に無事に終了することができました。

当校の生徒たちのために職場訪問等の機会を提供していただいた各企業・関係機関の皆様には厚くお礼申し上げます。一人一人の生徒の社会性の向上を図るために、大変有意義な活動になりました。今後とも、地域社会の将来を担う生徒たちを見守り、育むための教育活動にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

尚、詳細については、後日、各学年で発表会が行われますし、また、ホームページ上でも紹介していきますので、ご覧いただければ幸いです。発表会については、実施時期がきましたら、ご案内をお届けしますのでご承知おきください。



〈3年生：大阪あきんど体験〉



〈2年生：新潟市職場訪問〉



〈1年生：村上市内巡見〉

（文責：村上市立神納中学校長 浪花 健一）

深めよう 絆 県民運動 スタート

ストップ・ザ・いじめ
～やめよういじめ 許さないじめ～